

# 作新学院高等学校同窓会報

発行 作新学院同窓会 〒321-0027 宇都宮市埴田1-3-27 船田教育会館内 TEL 028-621-9083 FAX 621-3941



オール作新の力を結集し、被災された方々のための東日本大震災支援街頭募金活動。



## 同窓会のみなさまへ

作新の風を吹きおこそう

会長 大淵 皓之  
(昭和33年卒)

同窓会のみなさん、お元気ですか、みなさんには日頃より何かとお力添えをいただき、また同窓会の運営につきましてはいろいろとご協力いただきまして、誠にありがとうございます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災は数多くの犠牲者と未曾有の被害をもたらしました。被災地は東北、関東の太平洋沿岸を中心に広範囲に及んでおります、栃木県内でも深刻な被害が生じており、作新学院内外の関係者の中にも被災された方々が数多くおられます。心よりお見舞い申し上げます。

同窓会でも学校関係者と共に作新力を結集し、オール作新による大震災支援活動をスタートさせたところ、多くの関係者のご協力により義援金募集、救援物資の回収、災害ボランティア活動を展開することが出来ました。重ねてみなさまのご協力とご支援に感謝申し上げます。

さて、昨年の夏の甲子園では、初の春夏連覇から半世紀を得て作新学院が新たな歴史を刻みました。第93回

全国高校野球大会で作新は攻撃の野球で勝ちつづけ49年ぶり3度目の4強入りを果たしました。そして第56回全国高校軟式野球大会では作新は決勝戦で延長11回逆転サヨナラ負けし、2年ぶりの全国制覇と全国最多記録を更新する9度目の優勝はならなかったが、この夏おおいに作新の風を吹かせました。また第64回秋季関東地区高校野球大会では8年ぶりの関東大会出場で準優勝し、今年の春の選抜大会がおおいに楽しみです、春夏の甲子園を目指して今年も作新の風を吹き起こしてもらいたいと思います。

同窓会は今年も引き続き組織の強化を目標にがんばっていきます。同窓会のみなさんには大変な協力をいただいておりますが、更なる協力をいただきながら組織の強化を図って行きたいと思っておりますのでよろしくお願い致します。

今後のみなさまの益々のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。





## 「甲子園ベスト4」にありがとう

作新学院 院長 船田 元

作新同窓会の皆様、いかがお過ごしでしょうか。昨年は千年に一度といわれる東日本大震災が発生し、東北を中心に未曾有の被害を受けました。栃木県も原発事故の風評被害を含めて、大きな被害に遭いました。私たちは早速「オール作新」による支援活動を展開しましたが、同窓会の皆様にも義援金や救援物資の活動などにご協力いただき、大変有難うございました。私たちは今後とも、ボランティア活動や除染用の雑巾を送るなど、息の長い支援活動を、積極的に展開してまいります。

このような中、私たちばかりでなく、栃木県の皆さんに元気を与える、現役生徒たちの活躍を見ることができました。言うまでもなく、夏の甲子園での硬式野球部の活躍や、軟式野球部の明石での準優勝などです。特に硬式野球部は、去る8月19日の甲子園球場で、青森代表の光星学院に0対5で惜しくも決勝進出を阻まれました。しかし選手たちは実力を遺憾なく発揮し、また粘り強い試合展開を披露し、ベスト4まで登り詰めたのです。

作新ナインが夏の甲子園で勝利したのは、あの江川卓投手のとき以来、実に38年ぶりです。そしてベスト4まで登り詰めたのは、なんと49年ぶりです。49年前は高校野球史上、初めて春夏連続優勝を遂げたときであり、半世紀ぶりの快挙でした。このような輝かしい伝統があるために、選手たちはこれをプレッシャーと感じてしまう傾向があります。しかしこのたびの選手たちは、「自分たちが新たな

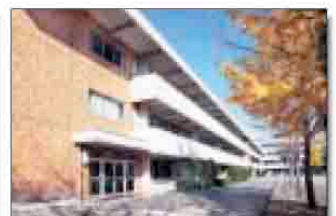
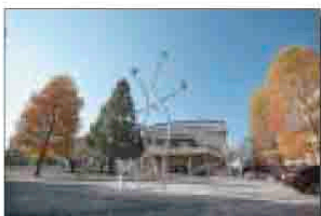
歴史を作る」とか、「常に挑戦者でありたい」という言葉をスローガンとして、実に伸び伸びとプレーしたことが、ベスト4の原動力となったようです。

また3年生だけでなく、1年生や2年生がそれぞれの役割を自覚し、お互いに助け合う雰囲気醸成されていました。小針監督の積極的な采配ぶりと、絶妙な投手リリーフのタイミングも光っていました。このようなことが出来るのも、監督と選手たちの日頃の信頼関係があったればこそのことではないでしょうか。

さらに忘れてはならないのは、記録的な猛暑の中、作新学院の内外から多くの方々が強力に声援してくれたことです。私が加入している交流サイト「フェイスブック」には、数多くの方が投稿してくれましたし、学校への激励電話も数え切れないほどでした。もちろん同窓会の方々にも甲子園まで足を運んでくれました。中には宇都宮から10時間もかけて、自家用車で駆けつけてくれた友人もいました。心から感謝を申し上げます。

「一瞬の夏、一生の思い出」というのが、今年の高校野球選手権大会のスローガンでしたが、これは高校生だけのものではありませんでした。あの東日本大震災から力強く立ち直ろうとしている、我々大人たちに向けての言葉でもあったのではないのでしょうか。皆さんとともに、真っ黒に日焼けした高校球児たちに、心からの「ありがとう」を言いたいと思います。

### 学院近景







## 「強く、正しく、美しく」

作新学院 院長代理 船田 恵

同窓会の皆様方には、旧年中も大変お世話になりました。誠にありがとうございました。

昨年は、東日本大震災により大きな試練を課せられた一年でありました。同窓会の皆様におかれましてもご自身はもとより、ご家族・ご親戚が被災されたという方も数多くおられたかと存じますが、心よりお見舞いを申し上げます。

作新学院も、南体育館が使用不可となったのははじめ各校舎に相当程度の損害を被ったものの、お蔭様で子供たちはその日のうちに全員無事に帰宅させることができましたことには、ただただ感謝をいたすばかりです。

また地震発生から数日後には、早くも被災地支援に向け作新の総力を結集しようと「オール作新」による復興支援体制をたち上げることができ、幼稚園から高等学校までの子どもたち、教職員、保護者の皆様、関係企業の方々そして同窓会の皆様方にも多大なるご協力をいただき、様々な支援を重ねてまいりました。

募金活動や救援物資の収集・配送作業などはもちろんのこと、吹奏楽など部活動の生徒らによる避難所への慰問、甲子園などスポーツで活躍した選手らによる街頭募金、生徒の作成したエコバッグのオークションによる募金など、作新ならではの支援活動も数多く実施しました。中でも中等部生が発案・実施した福島原子力発電所の作業員の方々に向けた「メッセージ入り手ぬぐい」の作成には、子供の豊かで自由な発想力がいかに無限の可能性を秘めているかを教えられ、大いなる勇気と希望を与えられました。

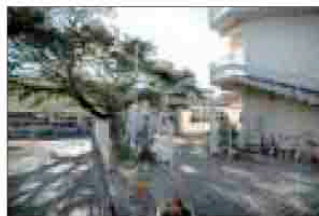
昨年末にも、大掃除に向け除染用の雑巾を被災地に送るため、一人一枚計5,000枚を目標に雑巾を作ろう！と全校に呼び掛けしたところ、目標を大きく上回る7,600枚余がわずか10日ほどで集まりました。この成果を地元各紙が大きく報道して下さい、300万個達成も間近いペットボトルキャップ収集に続き「作新力」の偉大さを、あらためて内外に知らしめることができました。

実は、私自身も今回はじめて子供たちと縫物をしながらわかったことですが、近頃では雑巾は店頭で安価に入手できる上、家庭科の授業でもミシン縫いから教わるため「手縫いの雑巾」というのは皆無に近く、そういう意味でも一針一針被災地への思いを込めた雑巾というのは、“プライスレス”(価値は無限)なのです。しかも、そうした雑巾の中には刺繍などで応援のメッセージやイラストをあしらったものもあり、それらを手にするだけで子供たちからの思いが直に伝わってきて、回収作業をする私たちの心までが洗われ温められていく気がしました。

震災にもめげず、昨年は「作新の風」が列島に吹き起こった一年でもありました。硬式野球部の49年ぶり甲子園ベスト4進出をはじめ、水泳の萩野公介選手は世界大会において日本新記録で優勝など好成績を重ね、今年はオリンピック出場の期待もかかります。

すべての試練を糧に、“より強く、より正しく、より美しく”進化し続ける作新学院にどうか今年も大きなご支援を賜れますことを心から願っております。

### 学院近景







## 更なる飛躍を目指して

高等学校 校長 長谷川 勝比古

同窓会の皆様には、日頃から高等学校の教育に深いご理解とご協力を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年3月11日に発生した東日本大震災では作新学院も大きな被害を受けましたが、「オール作新」として被災地への支援活動を計画しましたところ、温かいご協力をいただき本当にありがとうございました。支援活動は第5弾を数えましたが、今後も長期的に実施して行きますので、同窓会の皆様の一層のご協力をお願い申し上げます。

さて、昨年も作新学院を多くの卒業生が巣立っていきました。大学には、東大を含む国公立大学に79名、早慶などの私立大学に917名が合格しました。東大に合格した県内の高校は、宇高・宇女高・栃高・真岡高、そして作新の5校でした。国立大の合格者数、「MARCH（マーチ）」と呼ばれる明治・青山学院・立教・中央・法政の合格者数は、本校が県内私立高校の中でトップの実績でした。また、歴史的な不況の中、就職率も96.8%を達成することができました。進路指導の成果は着実に上がっていると言えます。

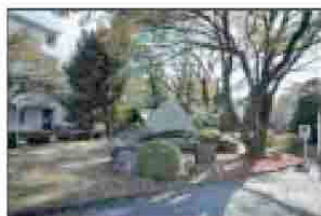
部活動につきましても、今年度は県高体連から11部が強化指定を、4部が重点強化指定を受け、92名がインターハイに、40名が世界大会や全国大会に、そして58名が国体に出場しました。いずれの部も各地で「作新の風」を吹き起こしてくれましたが、特に硬式野球部は、夏の甲子園大会でドラマチックな勝利を重ねてベスト4に輝き、私たちに多くの感動と勇気を与えてくれました。同窓会の皆様には、暖かいご支援をいただき、改めて心から感謝申し上げます。

また作新学院は昨年、将来の国際的な科学技術系人材育成を目的とした先進的な理数系教育を実施する高校として、文部科学省から「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受けました。今後5年間、「環境」を重点テーマとして、最先端の科学技術に触れ、観察や実験を通じた体験的・探求的学習を推進いたします。SSHの活動によって生徒・教員とも、モチベーションが上がるなどの波及効果が期待されています。

平成20年から始めた「作新力開発プロジェクト」も「エコ」をテーマに様々なイベントを展開してきました。CO2の削減と発展途上国の子供たちにポリオワクチンを贈るためのペットボトルキャップ回収運動、足尾の山の緑化を願って行った植林ボランティアなどですが、被災地への支援活動同様、生徒にとってはかけがえのない「学習」の機会だと思っています。

「作新民」の精神は、「時代の変化に対応し、自らを常に新しくする人材を育てる」ことですが、それは自分で考え、自分で行動できる人材を育成することでもあります。生徒には、SSHや作新力プロジェクト・被災地への支援活動などを通して「自らを常に新しく」できる「人間力」を備えて欲しいと願っています。学校、とりわけ私立学校を取り巻く環境や教育条件は、今や大きく変化し、難しい舵取りが求められる時代になりました。しかし、こういう時代だからこそ学院が一丸となって、更なる飛躍を目指して邁進していく所存ですので、今後とも同窓会の皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

### 学院近景





## 平成23年度

## 同窓会定時総会

作新学院高等学校同窓会の定時総会は、平成23年6月17日午後6時より、宇都宮市の「アピア」において、船田元学院長、長谷川勝比古校長など多くの来賓をお迎えし、同窓会会員70名が参加して開催された。

会の冒頭、東日本大震災犠牲者に対して哀悼の意を表し、全員で黙祷を捧げた。

当日の総会では、金田真麒同窓会副会長（昭和35年卒）の開会の挨拶で幕を開け、学院歌を全員で斉唱した。次に、大淵皓之会長（昭和33年卒）の挨拶では、オール作新、東日本大震災救援活動のお礼とホームカミングデー大人の作新祭開催にあつたてのお礼があつた。大人の作新祭に関しては今年度の反省を生かし来年度以降の開催につなげていきたいと話した。最後に、今後とも学校側と同窓会側との連携を密に取って活動していくと豊富を述べ挨拶を閉めた。続いて来賓を代表して船田元学院長が挨拶。東日本大震災における学校関係の被害状況を説明。高校・大学とも天井や壁等に被害があつたが人的被害が一人も出なかつたと報告した。

この後、仲田陽介氏（平成3年卒）と角田充由氏（平成5年卒）を議長団に選出し議事に入った。

第1号議案 平成22年事業報告並びに決算  
平成22年度基本特別会計報告

第2号議案 平成23年度事業計画（案）  
平成23年度収支予算（案）

第3号議案 役員改選

第4号議案 同窓会会則改定について



尚、第3号議案役員改選については、副会長に福田勝江氏（昭和31年卒）が監事に福田弘子氏（昭和30年卒）がそれぞれ選任された。

第1号議案から第4号議案まで慎重審議が行われ、それぞれ原案通り承認可決された。

総会の最後に総合進学課吉羽茂教頭より“オール作新”による東日本大震災救援活動（第一弾）のお礼と報告があつた。

総会終了後の懇親会では、三村松司氏（昭和35年卒）副

会長乾杯の音頭の後、久しぶりに会った先生や旧友との和やかな歓談に入った。

もちろん毎年恒例となっている、鈴木同窓会事務局局長（昭和38年卒）率いるハワイアンバンドの演奏もあり大変盛上つた懇親会となつた。



イマイズミ(宝石・貴金属)

<http://www.imaizumi-j.com/>

代表取締役 今泉 臣夫 (昭和37年卒)

宇都宮市仲町1-13 ☎028-622-3573

金田 商会

代表取締役 金田 真麒 (昭和35年卒)

宇都宮市松原1-5-5 ☎028-622-1846



# オール作新による東日本大震災救援活動

3月11日の東日本大震災直後より、“オール作新”による救援活動を実施し、現在も第3弾を展開中です。多くの方々のご協力により、被災地の皆様へ気持ちを伝えることができ、被災地からも多くのお礼のお手紙や言葉を頂きました。オール作新の力を結集し、被災された方々の力になれますよう、今後とも引き続きご協力の程よろしくお願いたします。

## 第1弾 主な活動 2011年3月19日～4月15日

3月～4月7日まで

宇都宮各避難所（姿川地区市民センター附属体育館・北総警あんしんかん）での炊き出し、清掃、受付、心のふれあい等のボランティアに参加）された方々の力になれますよう、今後とも引き続きご協力の程よろしくお願いたします。

- 4月 9日 慰問演奏会（高等学校吹奏楽部） 回収した物資の仕分け作業梱包作業
- 14日 南相馬市へ物資・応援メッセージを届ける
- 15日 北総警あんしんかんへ物資を提供する
- 27日 下野新聞社へ義援金総額1,525,895円を送呈
- 5月 8日 石巻市へ瓦礫撤去作業



救援物資仕分け作業の様子



下野新聞本社



石巻瓦礫撤去作業の様子



避難所慰問演奏会



福島県南相馬市新町役場にて

## 第2弾 主な活動 2011年4月16日～9月

- 6月 2日 東京電力栃木支社を通じて、福島第1原発へ応援メッセージ手ぬぐいを送る
- 3日 チャリティーコンサート（収益はあしなが育英会へ寄付）
- 17日 小学部教員が気仙沼へ物資支援（小学部児童からの応援メッセージ・中東部生徒からの絵本200冊贈呈）
- 7月15日 福島県南相馬市・岩手県大船渡市・宮城県石巻市・塩釜市へ物資を送る
- 9月23日 創立記念日 街頭募金活動



高等学校吹奏学部チャリティーコンサート

## 第3弾 主な活動 2011年10月～12月

- 10月 1日 文化祭 『絆』旗作成収益金全額東日本へ寄付  
横断幕再利用エコバック・チャリティバザー集積金を朝日新聞社・産経新聞社を通じて東日本へ寄付
- 11月18日 除染用ぞうきん7,600枚達成報告会（福島県南相馬市・福島市NPO法人花見山を守る会へ送付）
- 30日 第3弾救援物資収集
- 12月23日 宮城県七ヶ浜町にて「窓拭き清掃交流会」実施（高等学校ボランティア部・生徒会・インターアクト部）



メッセージ手ぬぐい作成の様子



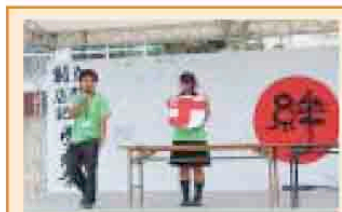
大船渡の皆様からのお礼の写真



除染用ぞうきん7,600枚達成報告会



街頭募金の様子



横断幕再利用[エコバックチャリティーオークション]



ぞうきん作成の様子



ボランティア部の生徒たち梱包作業



# 第2回 『おとなの作新祭』 挙行

初秋の秋晴れの下、平成23年10月1日同窓会与学院合同の「おとなの作新祭」が高等学校文化祭との共催により、本学院聴蛙館において盛大に挙行されました。午後1時から開会式が行われ、船田 元学院長・船田 恵院長代理、そして大淵 皓之同窓会会長のご出席を賜り、お祝いのご挨拶を頂きました。

1時30分から本学院硬式野球部OBで史上初「春夏甲子園連覇」を達成した、元ロッテ監督の八木 沢荘六氏の講演会が開催されました。現役野球部選手をはじめOB・OG同窓生・在校生保護者の皆様、そして教職員など大勢の聴衆を前に野球の魅力と努力の大切さを熱く語って頂きました。

3時30分からは聴蛙館において懇親会が開催されOB「ザ・たち」によるお笑いショーそしてOG「サワピリカ」のライブショーと大いに盛り上がりました。また、在学当時を振り返り級友や恩師との楽しいひと時を過ごして、親睦を深めることができました。



野球の魅力を語る八木沢荘六氏



懇親会で大いに盛り上がる卒業生

今般の「おとなの作新祭=ホームカミングデー」は10年会・20年会卒業の参加者が少なく課題山積であり、今後検討していかなければならないと思います。

最後に、「おとなの作新祭」開催にあたり、同窓会役員・関係各業者の皆様・本学院教職員のご支援ご協力を賜り心よりお礼と感謝を申し上げます。有難うございました。

## 仲田総業株式会社

<http://www.nakada.tv>

専務取締役 仲田陽介 (平成3年卒)

宇都宮市築瀬町2520-4 ☎028-635-2151



## 株式会社 鱒淵建設

代表取締役 鱒淵孝男

建築部 小牧英夫 (昭和56年卒)

宇都宮市中央3-15-13 ☎028-633-3261

E-mail: masu3261@snow.ucatv.ne.jp/

## (有)川口写真館

代表取締役 川口修一 (昭和44年卒)

宇都宮市北一の沢21-19 ☎028-622-4641

## (株)安藤設計(一級建築士事務所)

<http://www3.ocn.ne.jp/~andoarc/>

代表取締役 安藤英夫 (昭和43年卒)

専務取締役 安藤寛樹 (昭和45年卒)

総務部長 安藤篤史 (平成9年卒)

宇都宮市山本1-3-14 ☎028-625-2875



第93回 高等学校野球選手権大会  
『甲子園で勝利の校歌』を合言葉に49年ぶりの**準決勝4**を果たす



硬式野球部OB会  
会長 大久保 恵一  
(昭和43年卒)



まるで出口のないトンネルにさまようかのように、夏の甲子園から遠ざかっていた、我が硬式野球部は、2009年夏の県予選で、古豪宇都宮工業高校を5対0で破り実に31年ぶりとなる第91回全国高等学校野球選手権大会に出場することができました。この31年間、幾度となく県予選の決勝へ進出するも辛酸をなめ、聖地甲子園球場が果てしなく遠くなっていました。

そして、2011年夏、三度順延となった県予選決勝。三回ソロ本塁打で先制すると、4回に四連打で3点、さらに、5回、7回にもそれぞれ4点ずつを追加し、宇都宮商業高校を17対5の大差で破り、2年ぶり7回目の選手権大会出場を決めた。

甲子園では、組合せの結果、大会3日目の第一試合福井商(福井代表)に決定。1973年以来38年ぶりの勝利に挑む!

第93回 全国高等学校野球選手権大会

◆一回戦 福井商(福井県)11対1

初回、2点本塁打で勢いに乗ると、打者10人5安打を集中させ一挙6点を先制。序盤から大量リードを奪う!!

◆二回戦 唐津商(佐賀県)3対2

唐津商エースはプロ注目の右腕。この試合自己最速153km/hをマーク。10奪三振を奪われるものの、中盤ボールの甘くなったところを狙い逆転勝ち!!

◆三回戦 八幡商(滋賀県)6対3

昭和37年春の選抜大会で延長18回引き分け再試合の末に勝利した歴史がある。実に49年ぶりの対決。6回、二死二、三塁から右前適時打で勝ち越し。7回には一死

満塁から右前二点適時打、8回にも一死三塁からスクイズを決めるなど小刻みにリードを広げベスト8進出!

当時死闘を演じたOBたちも「リベンジはさせない!」とスタンドから応援した。

◆四回戦 智弁学園(奈良)7対6

1点を追う9回に劇的なドラマが待っていた。先頭打者からの三連打で同点に追いつくと、なおも、一死二、三塁から右犠飛で勝ち越し、これが決勝点となり、春夏連覇した1962年以来49年ぶりのベスト4進出を決めた!

◆準決勝 光星学園(青森)0対5

3回表、攻撃中に雨が激しくなり、試合は1時間半中断した。4試合で45安打の強力打線も光星学院エースの前に10奪三振で完封負けを喫した。



智弁学園を破り49年ぶりにベスト4進出に喜ぶライン

8月、勢いの乗って県大会を制したチームは、甲子園球場に作新の風を吹き起こすことができました。全国に名を馳せる強豪校を相手に、決して気後れすることなく劇的な快進撃で一戦一戦を勝ち抜き、実に春夏連続優勝以来となる49年ぶりに準決勝、ベスト4を果たすことができました。

さらに昨年10月に行われた秋季関東大会では、決勝で浦和学院(埼玉)に0対5で敗れたものの、準優勝の好成績を残し、この春の選抜選手権出場をほぼ確実にしたところです。実に、作新野球の黄金期が再来し、深紅・紫紺の優勝旗を手中にと期待が膨らんでまいります。

そのためにも、会員数千名余を有し、半世紀の歴史を持つ我が硬式野球部OB会は、組織の強化や活性化、魅力ある事業の構築、学院との強い連携等を図りこれまでも増して硬式野球部を支えていかなければなりません。

OBをはじめ関係各位におかれましては、硬式野球部に対して、引き続きご支援、ご協力をくださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



緩急のよいピッチングで打者を取り取る

5試合で51安打の強力打線!



勝利を信じ!!応援で盛り上げるアルプススタンド



軽快な守備でピンチを救う



アルプススタンド最上段に巨大な応援団旗が掲げられた



# 今年成人を迎えられる卒業生 ご成人おめでとうございます。

英進部

皆様が作新学院を卒業して2年が経とうとしています。皆様が残された輝かしい実績は、確実に後輩達に受け継がれています。英進部では、更なる飛躍を期し、新たに「トップ選抜クラス」「英進選抜クラス」「英進クラス」のクラス制とするなど、大きな改革が実施されました。その成果が現れ、昨年度は最難関である東京大学をはじめ大阪大学・東北大学など国公立大学に74名の合格を果たしました。また、私立大学でも慶應義塾大学・早稲田大学・上智大学などMARCHレベル以上の大学に79名の合格者を出しています。

さて、東日本大震災で生活物資が不足した経験を通して、改めて現在の日本の社会の豊かさを実感した人も多かったのではないのでしょうか。この社会とこれからの日本の復興を支えていくのは皆さんです。これからの時代には、建学の精神である「作新民」(日々変化してゆく世の中を新たに切り拓いていく人材)がますます必要とされるでしょう。作新学院で培ったこの精神を社会で活かし、ご活躍されることをお祈りいたします。

平成21年度英進部 第3学年副主任 手島 宏志



平成21年度卒業時の第3学年担任の先生方

**(有) 朋友塗装工業** (建築・塗装・吹付工事)

代表取締役 小野 朋之 (昭和61年卒)

宇都宮市峰3-31-30 TEL 028-634-7082  
FAX 028-639-7220**作新学院高等学校 P・T・A**

会長 片柳 二郎

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

**株式会社 寿屋** (住宅リフォーム)

INAX リフォーム ライファ宇都宮東 (太陽光発電システム販売施工)

代表取締役 齋藤 貞夫 (昭和41年卒)

宇都宮市瑞穂1-15-11 ☎028-656-6613



(総合建設業)

**中村土建株式会社**

取締役副社長 渡邊 幸雄 (平成4年卒)

宇都宮市大曾4-10-19 ☎028-622-6581





平成21年度卒業時の第3学年担任の先生方

## 今年成人を迎えられる卒業生 総合進学部 ご成人おめでとうございます。


新しく成人された皆さんは、ご両親をはじめ、周囲の方々の深い慈愛と庇護のもとに、知識や経験を積み重ねてくることができました。総合進学部の3年間、学業や各種行事などに心弾ませながら取り組み、多くの出会いや感動を実感し、心身ともに成長して立派な卒業生となりました。

これから成人として、全ての権利と義務、そして社会人としての責任を背負って社会に進出することになります。今後ますます知性を磨き、心身を鍛練してしっかりと自己を確立していただきたいと思います。若き情熱とエネルギーに満ちた行動力で、社会や他人のために何ができるかを考え、ご活躍されることを期待いたします。

皆さんの限りない前途・未来を祝福申し上げます。

平成21年総合進学部 第3学年主任 稲葉 宗孝

(総合建設業)

 株式会社 新生工業

代表取締役 櫻井 英治(昭和57年卒)  
宇都宮市徳次郎町46 ☎028-665-1502

花と園芸

(株)藤野グリーンセンター

代表取締役 藤野 善勝(昭和35年卒)  
宇都宮市さつき2-3-5 ☎028-653-8660

手塚・吉高神司法書士事務所

司法書士 吉高 神渡(昭和45年卒)  
宇都宮市小幡2-6-10 ☎028-627-0521

藤田勝春法律事務所

弁護士 藤田 勝春(昭和35年卒)  
宇都宮市清住3-1-14 ☎028-625-3266



# 今年成人を迎えられる卒業生 ご成人おめでとうございます。

情報科学部

作新学院を巣立った皆さん、「晴れての成人の儀」誠におめでとうございます。

昨年の3月11日、大きな被害をもたらした東日本大震災。東北の方々をはじめ、多くの人々が苦難の日々を余儀なくされました。想像を絶する事態が人生を大きく変えてしまうということを痛感しました。忘れられない、否、忘れてはならないこの惨劇に対して、人々の強い「絆」を合言葉に立ち上がった日本。その日本を支えていく中心にいるのが皆さんなのです。「新成人」という言葉の重みを活力に変えて、日本を逞しく牽引して頂きたいと願っております。

そして、ここに成人式を迎えられました同窓生一人ひとりが誇りを胸に、最高の人生を歩んでほしいと心よりご期待申し上げます。

平成21年情報科学部 第3学年副主任 植木 博夫



平成21年度卒業時の第3学年担任の先生方

## 作新学院 親交会

会長 荒井 祥

宇都宮市一の沢1-1-41 ☎028-648-1811

## (株)大貫商店 (紙一式)

早乙女ヒロ子 (昭和21年卒)

宇都宮市二荒町9-3 ☎028-634-4131

## 元氣の里

(特別養護老人・ホームケアハウス)

施設長 角田充由 (平成5年卒)

宇都宮市幕田町1456-1 ☎028-655-2611

## 荒川歯科クリニック

理事長 荒川 敏明 (昭和48年卒)

宇都宮市西川田本町4-1-3 ☎028-645-5072



# 昨年度卒業生の進路状況

～ 東京大学 理科一類合格!! 大阪・東北・北海道大学など国公立大学に79名、  
慶應義塾・早稲田・上智・MARCHレベル以上の私大に84名合格!! ～

平成22年度の卒業生1,254人の進路の内訳は、4年制大学に543人、短期大学に78人、専門学校(予備校を含む)に342人が進学し、就職・その他は291人であった。これを割合で見ると、大学や専門学校への進学は76.8%、就職・その他は23.2%であった。

平成23年度入試は、入試変更点や難易変動要素の少ない入試であったが、一方では、東日本大震災の影響で、国公立大の後期日程が中止や延期となるなど、異例の入試となった。志望動向を見ると、受験生の地元志向の強まりや、学費の安い国公立大への進学、受験料が安い私大センター利用入試への出願増加などが特徴となっている。

国公立大学の主な合格大学としては、最難関大学である東京大学(理科一類)をはじめ、大阪(文)・東北(工)・北海道(総合教育)・筑波(情報)・東京外国語(外国語)・千葉(理)・東京学芸(教育)・電気通信(情報理工)・埼玉(教育)・新潟(歯・経済・理・医[看護]・工)・宇都宮(教育・工・農)・茨城(教育)・群馬(社会情報)・信州(人文)・大阪府立(工)・首都大東京(都市教養・都市環境)・横浜市立(国際総合科)など、79名の合格(昨年度68名、一昨年度54名)を果たした。なお、栃木県内で東京大学に合格者を出した高校はわずか5校だけであり、このうち私学では唯一、作新学院が合格を果たした。私立大学でも、最難関といわれる慶應義塾2名、早稲田4名のほか、上智・東京理科・立教・明治・青山学院・中央・法政など、MARCHレベル以上の大学に昨年度の58名を大きく上回る84名の合格者を出すなど、好結果を残すことができた。このような進学実績が多くの大学から評価され、平成23年度には202大学から1,200人を超える指定校推薦枠を受けている。

一方、専門学校へ

の進学は、県外専門学校への進学者が40%と、県内専門学校への進学者を下回り、地元志向が強いという従来の状況に戻った。ただし、分野別では、理容・美容・ペット・コンピュータ・医療系など、前年までの傾向と変わらない。やはり、技術を身に付けるという分野が依然として人気を集めた感がある。なお、看護師を希望する進学者の約半数が不合格となるなど、この分野は相変わらず難関であることが顕著に認められた。

就職状況に関してみると、平成22年度の作新学院への求人社数は、401社(前年比79社減)であった。リーマンショックからなかなか立ち直れず、国内製造メーカーは、円高による輸出の伸び悩み・空洞化、さらに国内消費の低迷などの要因で、新卒者の採用を極力控えたことにより、昨年以上に厳しい就職環境であった。実際、栃木県内高校生の10月末の就職内定率は、65.9%と低迷した。このような状況の下、行政(栃木労働局)や経済団体・学校関係者でつくる『栃木新卒者就職応援本部』が、総力を挙げて新卒者の就職支援に取り組むことを平成22年12月初旬に宣言したが、第2回合同面接会からトライアル雇用を高校在学の3年生にも適用したことで、企業側が積極的な採用に転じ、未内定者が内定を得ることができた。作新学院では、就職指導に十分な時間と労力を注ぎ、自己の確立への手助けを行ってきた。各学年で行われたキャリアガイダンス、インターンシップでの貴重な体験、人事担当者による『企業が求める人材』と題する就職講話、外部講師による『ビジネスマナー』などが大いに生かされ、内定率アップに繋がったが、平成22年度の特徴として考えるのは、文武両道を実践させた生徒の多くが有名企業に数多く就職したことである。こうして、3月末には、内定率もほぼ100%に達することができた。

平成22年度 卒業生進路先

部	進路		卒業生	4年制大学	延べ合格者	短期大学	専門学校 (含む予備校)	就職・自営
	男	女						
英 進 部	男		174	138	337	0	30	6
	女		145	107	256	10	25	3
	総数		319	245	593	10	55	9
総合進学部	男		328	164	175	1	78	85
	女		224	55	58	50	69	50
	総数		552	219	233	51	147	135
情報科学部	男		221	62	62	1	73	85
	女		162	17	20	16	67	62
	総数		383	79	82	17	140	147
総 計	男		723	364	574	2	181	176
	女		531	179	334	76	161	115
	総数		1,254	543	908	78	342	291



# 軟式野球部 全国高校軟式野球大会で準優勝

## 水泳、世界ジュニア選手権で萩野公介君200m個人メドレーで優勝

国民体育大会（おいでませ山口国体）等の各種競技で好成績

### 運動部

#### 国際大会

##### 〈水泳競技〉

###### 第3回世界ジュニア選手権

英進部2年 萩野公介……200m個人メドレー優勝

###### 2011ワールドカップ東京大会

英進部2年 萩野公介……200m個人メドレー優勝

日本新記録（短水路）

#### 第93回高等学校野球選手権大会

平成23年8月8日午前8時。3番打者の先制2ラン本塁打で幕を開けた、甲子園大会でした。2年前の忘れ物『甲子園で勝利の校歌』を合言葉に全員が一投一打に集中し、大会屈指の好投手攻略、怪我にも負けない熱投、最終回での大逆転などドラマティックで感動的な試合の連続でした。皆様の期待に応えるべく、さらに高い目標を掲げて前進していきます。〔硬式野球部岩嶋先生記〕

##### 〈硬式野球〉ベスト4

- 板崎直人(総3) 佐藤竜一郎(英3) 金山 明(英3)
- 鳥取信吾(英2) 飯野 徹也(総3) 内藤涼太(総3)
- 大垣憂斗(総3) 山井 将来(総3) 大谷樹弘(総2)
- 石井一成(総2) 鶴田 剛也(総2) 高嶋翔馬(総2)
- 高山良介(総2)
- 湧井翔太(総2)
- 浅野壮也(総2)
- 山下勇斗(総1)
- 大林禎規(総1)
- 山梨浩太(総1)



#### 第66回国民体育大会おいでませ山口国体

##### 〈軟式野球〉優勝

- 大塚 隼(総3) 高橋諒太(総3) 田口佑樹(総3)
- 牧野泰宜(英3) 斎藤智己(総2) 黒田 駿(総2)
- 木戸純平(総2) 小島悠禎(総2) 田邊恒輝(総2)
- 千葉雄介(総2) 神山良太(総2) 太田直哉(情2)
- 西島勇人(総1) 平田大智(総1)

##### 〈水泳競技〉

英進部2年 萩野公介……200m背泳ぎ優勝  
400m個人メドレー 2位

総合進学部1年 菊池優奈……200mバタフライ 7位

##### 〈陸上競技〉

総合進学部3年 横手 健……5,000m 優勝

##### 〈弓道競技〉

総合進学部3年 和田直之……男子[遠的]4位[近的]6位

総合進学部3年 大山舞子……女子[遠的]7位[近的]5位

##### 〈ボクシング競技〉

情報科学部2年 工藤裕輝……ライトフライ級 3位

総合進学部2年 森祐太郎……ウェルター級 5位

##### 〈自転車競技〉

総合進学部1年 小松誠悟……ケイリン 6位

##### 〈ゴルフ競技〉

ゴルフ4位 総合進学部3年 長谷川楓弥

英進部2年 阿久津未来也

##### 〈硬式野球〉 硬式野球 ベスト8

#### インターハイ・熱戦再来、北東北総体成績

##### 〈弓道競技〉

総合進学部3年 大山舞子……3位

##### 〈陸上競技〉

総合進学部3年 横手 健……5,000m 4位

##### 〈自転車競技〉

総合進学部3年 萩原慎也……4km速度競走 4位

##### 〈水泳競技〉

総合進学部1年 菊池優奈……100mバタフライ 8位  
200mバタフライ 5位

##### 〈ボクシング競技〉

総合進学部2年 森祐太郎……ウェルター級 8位

#### 全国大会成績

##### 〈軟式野球部〉 全国高等学校軟式野球大会 準優勝

##### 〈パワーリフティング部〉

###### 全日本パワーリフティング大会

英進部3年 植草 陸大……74kg級 優勝

英進部3年 仲野 衣美……+72kg級 優勝

英進部3年 今井 純平……83kg級 2位

英進部3年 八下田英里……63kg級 3位

情報科学部2年 矢倉 翠……57kg級 3位

情報科学部2年 宍戸 映美……63kg級 4位

英進部3年 山村 昂輝……93kg級 6位

##### 〈ゲートボール部〉

###### 全国ジュニアゲートボール大会 ジュニア女子 3位

高木萌愛(英2) 赤羽 萌(英2) 掃部由有(英2)

須藤 彩(英2) 平出真美(英2)

##### 〈ゴルフ部〉 日本ジュニアゴルフ選手権

英進部2年 阿久津未来也……3位

#### 伴印刷株式会社

http://www.bannet.com/

代表取締役 伴 清(昭和35年卒)

常務取締役 伴 誠(昭和62年卒)

生産管理部長 伴 康行(平成7年卒)

宇都宮市栄町6-10 ☎028-622-8901

#### (有)坂本商店(業務用青果・漬物製造卸)

代表取締役 坂本 昭(昭和31年卒)

宇都宮市京町3-4 ☎028-633-4003

FAX 028-632-9148



# 物理部 2008年世界青少年発明工夫展 **台湾開催** 銅賞

## 県高等学校書道展で安納采那(英1)さん優秀賞受賞

### 文化 部

#### 書道部

平成23年11月6日(日)県総合文化センター1Fピロテーターにおいて、第65回記念県芸術祭美術展の記念イベントが開催された。書道部の生徒12名は、5×7mの紙にナオト・インティライミの詞「今のキミを忘れない」を、顧問の塚原教諭は、同じ紙に桑田佳祐の詞「Let's try again」を曲に合わせて書き上げた。

平成24年1月8日(日)には東武宇都宮百貨店5Fでの東武書道祭りで昨年に続き書道パフォーマンスを披露する。

第35回県高等学校書道展において、英進部1年安納采那が優秀賞を受賞し、今年8月に開催される全国高等学校総合文化祭富山大会に県代表として参加することとなった。1年生が選出されることは極めて珍しいことである。

#### 演劇部

高校演劇では、役者の演技だけでなく、舞台装置づくりや、音響・照明の操作も生徒の手によって行う。膨大な時間をかけてつくった演劇が、60分という時間に凝縮されて、本番の舞台上で上演される。秋から始まる高文連のコンクールでは、地区、県、関東大会を経て、全国大会へとつながっていくが、今年も作新学院演劇部は関東大会まで駒を進めることができた。今後、平成23年12月24・25日に行われる関東大会で、全国大会出場を目指し、女子高生たちの日常(小さな世界)を描いた創作脚本「It's a small world」を上演する。また、平成24年2月5日には宇都宮市文化会館小ホールにて自主公演も予定している。

#### 科学部(物理班)

#### 8年連続全国大会出場決定!

10月末に行われた第61回栃木県児童生徒発明工夫展において、本校科学部が出展した作品が金賞を受賞し、全国大会出場が決定致しました。これで全国大会8年連続出場となりました。今年作品名は「垂直的思考の家」で、人が移動することなく、家具・調度品が必

要に応じて移動してくる家です。この作品は、日本で初めての発明であります。

また、今までの作品および部の活動状況が、「エフ・エム栃木」および「とちぎテレビ」で紹介されました。収録された内容がインターネットで閲覧できるようになりました。



物理班のみんな

#### 吹奏楽部

我が部は、第53回を迎えた県大会に、唯一第1回大会から連続出場しており、金賞39回、関東大会出場36回(金賞12回)など実績は充分ですが、わずか1点及ばず、次点の第4位で、全日本吹奏楽コンクールへの出場を逃してしまいました。毎年私たちは、吹奏楽の甲子園である「普門館」で、作新サウンドを響かせることを目標にしていますが、1点の重みをまさに感じたのでした。しかしながら、「饗奏〜一つ一つの音に愛をこめて」の思いは伝えられ、聴衆に感動を与えられたことに満足しております。今後とも応援の程よろしく願います。



第17回 東関東吹奏楽コンクール

株式会社 **落合東光園** (造園・土木)  
代表取締役 **落合 功** (昭和37年卒)  
上三川町川中子921 ☎0285-56-3751

株式会社  
**Plan 333** 企画装飾  
代表取締役会長 **関 正三** (昭和24年卒)  
〒321-0905 宇都宮市平出工業団地38-32  
TEL 028-662-6551(代) FAX 028-663-3579





自転車プロレーシングチーム

宇都宮

ブリッツェンで

現在活躍中の

廣瀬 佳正 選手

(平成8年卒)



自分の夢と出会えたのは16歳の時でした。当時、作新学院高等学校の自転車競技部に所属し、宇都宮競輪場や宇都宮森林公園で毎日厳しいトレーニングを行っていた。

高校1年生の10月、第2回ジャパンカップサイクルードレースが宇都宮森林公園で開催されると聞き、同じ部に所属していた仲間と観戦に出かけました。レースが始まると信じられないスピードで、僕の目の前をヨーロッパのトッププロレーサー達は駆け抜けて行った。そんな強豪揃いのプロレーサーの中で圧倒的な強さで優勝したのが、僕が最も憧れていたイタリアのプロレーサー『クラウディオ・キアプッチ』でした。

表彰式で多くの喝采とマスメディアに囲まれるクラウディオ・キアプッチを見て、『俺もヨーロッパに渡ってプロレーサーになる!』と心に決めた。

それから14年後、僕はドイツ ハンブルクで開催された世界最高カテゴリーの『ヴァッテンフォル・サイクラシック』



のスタート地点に立っていた。周りを見ればツールドフランスで優勝した偉大な選手や世界チャンピオン、オリンピックのメダリストばかり。テレビやDVDで見た光景が目前に広がっている。そして、僕もその中の1人でした。14年の歳月を懸けて、16歳の10月に出会えた夢が現実変わった瞬間だった。しかし、現実にはプレッシャーで押し潰されそうでした。夢が叶ったのだからもっと喜んで良い筈。周りの強豪選手に圧倒され、悔しいけれどスタート前から結果は見えていました。夢が叶ったと同時に自分の限界が儼くも見えた瞬間でもあった。

今思えば、夢を追いかけ、夢中で頑張っている事がすでに夢そのものだったのかも知れない。夢から覚めて自分の周りを見渡せば、心から信じられる多くの仲間と出会う事が出来た。夢中で追いかけた先には大切な仲間との絆を手に入れた。そして、現在、その仲間達と新しい夢に向かって走り出している。

税理士法人 **尾花会計パートナーズ**  
 代表社員・税理士 **尾花 一浩** (平成元年卒)  
 社員・税理士 **尾花 兼司** (平成2年卒)  
 〒322-0029 鹿沼市西茂呂3-19-2  
 ☎0120-806-087 URL <http://j-obana.tkcfn.com/>

**東野観光(株)** (旅のことなら)  
**高梨 義久** (平成3年卒)  
 宇都宮市平出工業団地19-8 ☎028-660-2441

**インテリアアール タカノ**  
**高野 博子** (昭和26年卒)  
 宇都宮市上戸祭3-3-2 ☎028-643-6231

野菜タップリ! グルメも納得!  
**うつのみや 名物 新三の薄皮餃子**  
**『割烹弁当』の新三**  
 代表取締役 **鈴木 郁夫** (昭和24年卒)  
 宇都宮市今泉3-12-30 ☎028-622-8337